

第4章

地域計画

本県は水源県として豊富な水資源に恵まれており、農地は標高10~1,400mの間に存在するなど、各地域において特色のある営農が行われています。

本章では、基本施策に基づいた具体的な施策の展開や地域の重点取組を地域計画としてとりまとめました。



中部地域計画

1 地域の概要

- 中部地域は県中央部に位置し、3市2町1村で構成され、約19,000haの農地は、県全体の28%を占めています。
- 農地の区画整理については、県平均を大きく上回る87%が整備済みとなっており、首都圏から比較的近いという恵まれた立地条件とあわせて、安心して安全な農畜産物の供給基地としての役割を果たしています。
- 前橋市南部、伊勢崎市及び玉村町では、広瀬桃木両用水や天狗岩堰用水などを利用し、米麦を中心とした土地利用型農業が行われ、前橋市の北部では、群馬用水や大正用水による畑地かんがいを活用して、きゅうり、なすやねぎなどの野菜栽培のほか、養豚や養鶏など畜産が盛んな状況となっています。
- 北群馬渋川地域では、県内屈指の生産量を誇る渋川市のこんにゃくいもや、群馬用水が整備された地域では、米麦を始め、ねぎやブロッコリーなど多品目の野菜が生産されています。



担い手への集積が進む前橋の水田地帯

2 現状及び課題

- 平坦地域に比較して整備の遅れている赤城山西麓の畑地帯では、赤城西麓用水を活用した収益性の高い農業を目指し、畑地かんがい施設の整備と併せ、区画整理の推進が課題となっています。
- 管内には多くの農業用ため池があり、その多くが明治時代以前に築造されていることから、ため池の老朽化対策を進めることが急務となっています。また、併せて防災重点ため池76箇所の豪雨・地震対策の詳細調査の支援やハザードマップの作成、ため池の管理体制の構築が急務となっています。



区画が狭小で不整形な農地（渋川市：南原地区）

3 地域における施策の展開

(1) 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

- 上細井中西部地区（前橋市）や境小此木東部地区（伊勢崎市）において、区画整理89haを完成させ、担い手へ55haの農地集積を推進します。
- 上狩野、中原、笠張地区（渋川市）において、畑地かんがい施設の整備と併せ区画整理102haを完成させ、収益性の高い農業生産基盤の確立と、担い手へ44haの農地集積を推進します。
- 南原地区（渋川市）、敷島地区（渋川市、昭和村）において、畑地かんがい施設の整備と併せ区画整理133haを実施し、農地集積を推進します。
- 赤城南第2地区（渋川市）において、農道保全対策計画に基づく路面補修及び農道橋の地震対策を完成させ、農道機能の維持・保全化を行います。

数値目標	H30(基準年)	R7(目標年)
生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積	38ha	99ha



整備前の農地（渋川市：中原地区）



整備後の農地

(2) 持続的な農業用水の安定供給

- 赤城大沼用水3期地区（前橋市）、大正用水3期地区（前橋市、伊勢崎市）、山子田地区（榛東村）、佐波新田用水地区（伊勢崎市、太田市）において機能保全計画に基づく農業水利施設の長寿命化対策を完成させ、農業用水の安定供給を行います。
- 坂東大堰2期（前橋市、高崎市ほか）、赤城大沼用水4期地区（前橋市）、大正用水4期（前橋市、伊勢崎市）において、機能保全計画に基づく農業水利施設の長寿命化対策を実施し、農業用水の安定供給を行います。
- 相馬原地区（高崎市、榛東村、吉岡町）において、障害防止対策事業で造成した施設の補修・更新を実施し、地域の安定した用水の確保を行います。
- 広瀬桃木両用水土地改良区ほかから土地改良区において、維持管理計画書の見直しを支援します。
- 県が管理する根利川頭首工（沼田市）において、赤城西麓土地改良区と連携して適切な維持管理と補修整備を実施します。

数値目標	H30(基準年)	R7(目標年)
基幹農業水利施設の長寿命化等対策工事を完成させる地区数	7地区	13地区



改修前の坂東大堰（前橋市：坂東大堰地区）



改修後の坂東大堰

(3) 安全安心な農村づくり

- 防災重点ため池（101箇所）のハザードマップの作成及び地域住民への周知を支援し、地域の安全安心を確保します。また、豪雨・地震における詳細調査を支援し、対策が必要とされた防災重点ため池の豪雨・地震対策を推進します。
- 前橋北部地区、富士見地区（前橋市）、榛名東部地区（榛東村）において、石綿セメント管から硬質塩化ビニル管等への敷設替え工事を完成させ、石綿の飛散による健康被害を防止します。
また、宮室・原中地区（高崎市）、滝ノ沢地区（吉岡町）において、同様の対策を実施し、地域の安全安心を確保します。
- 庚塚沼、寺後沼（前橋市）、大谷の堤、石原後堤地区（渋川市）において、ため池の豪雨・地震対策工事等を実施し、地域の安全安心を確保します。



改修した防災重点ため池（渋川市：中野貯水池地区）

数値目標	H30(基準年)	R7(目標年)
ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数	24箇所	101箇所

(4) 魅力ある農村の構築

- 多面的機能支払交付金を活用した農地や水路等の維持・保全に取り組む地域の協働活動を支援し、5,345haにおいて農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図ります。
- 群馬用土地改良区等が行う多面的機能支払交付金の事務支援を契機に、活動組織の広域化を支援します。
- 込皆戸、二之宮、前橋東部、樋越、米野地区（前橋市）において、最適整備構想に基づく、農業集落排水施設の機能強化対策を支援し、農村環境の保全を図ります。

数値目標	H30(基準年)	R7(目標年)
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積	4,468ha	5,345ha



世代間交流による田植え作業



さつまいもの収穫体験

4 地域の重点取組

(1) 土地改良区の体制強化

- 管内には11の用水管理を行う土地改良区があり、その大半が少人数の職員により運営されているため、維持管理計画書の更新や複式簿記の導入などにも苦慮している状況にあります。
これらの課題を含め、安定的な土地改良区の運営が図れるよう、体制強化に向けた支援を行います。
- 同一水系の広瀬桃木両用水土地改良区と八坂堰土地改良区の合併について、支援を行います。

(2) スマート農業に対応した耕作条件整備の推進

- 管内でスマート農業に取り組んでいる農事組合法人等と連携して、水管理の省力化などの実証試験を行いながら課題を明らかにし、畦畔除去や用水路改修などの必要な支援を行います。